

江戸時代から続く家庭刃物「播州刃物」

剃刀や鋏、包丁といった家庭刃物は、小野市を中心に発達してきました。その歴史は、江戸時代までさかのぼり、農家の副業及び家内工業として、地域経済の発展に寄与してきました。現在、職人の高年齢化が進む中、播州刃物を広めるため、小野市出身のデザイナーに小野市の刃物づくりのプロデュースを依頼し、これまでになかった外部の視点で、新しい取り組みを始めています。長い歴史の中で洗練された刃物の形状を変えるのではなく、カラフルな色の刃物を作るという新たな発想で生まれ変わった「BANSHU HAMONO」は、ニューヨーク・ロンドン・パリ・アムステルダムなどの展示会でも好評を得ており、日本だけでなく世界中で求められています。